

# 伊丹市の学力の現状と対策

(令和4年度全国学力・学習状況調査結果)

## 1. 平均正答率

【小学校】

	国語	算数	理科	合計
伊丹市	67	66	65	198
全国	65.6	63.2	63.3	192.1

(%)

【中学校】

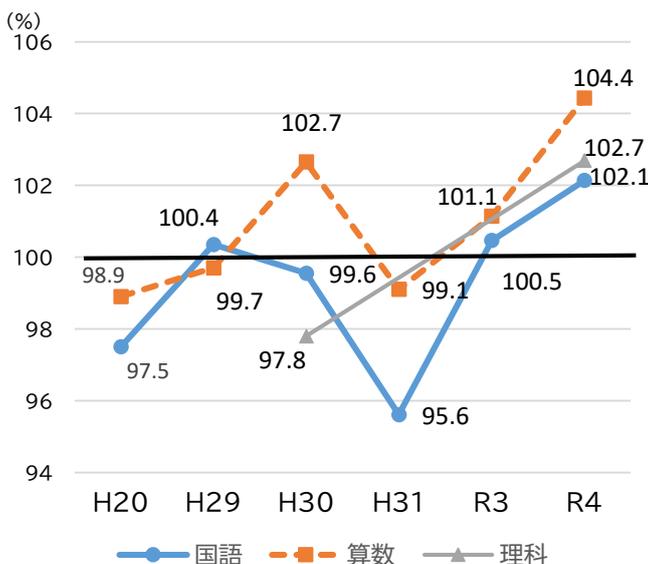
	国語	数学	理科	合計
伊丹市	70	53	50	173
全国	69.0	51.4	49.3	169.7

(%)

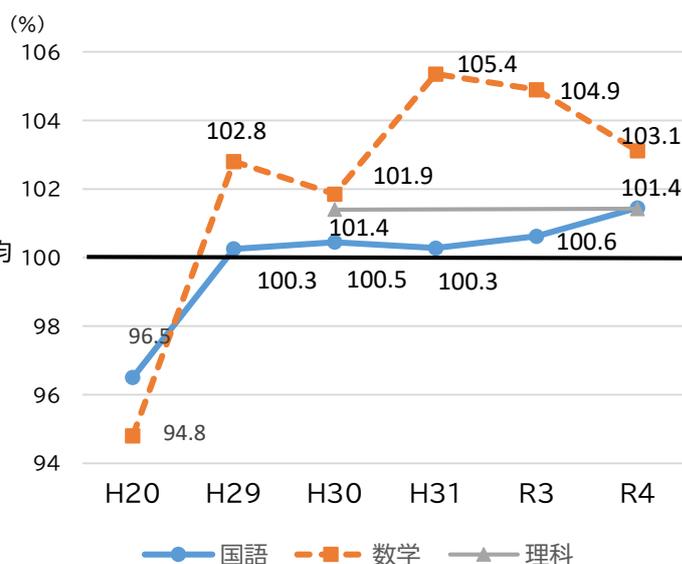
## 2. 平均正答率の経年変化

全国の平均正答率を100とした場合の伊丹市の平均正答率の推移

【小学校】



【中学校】

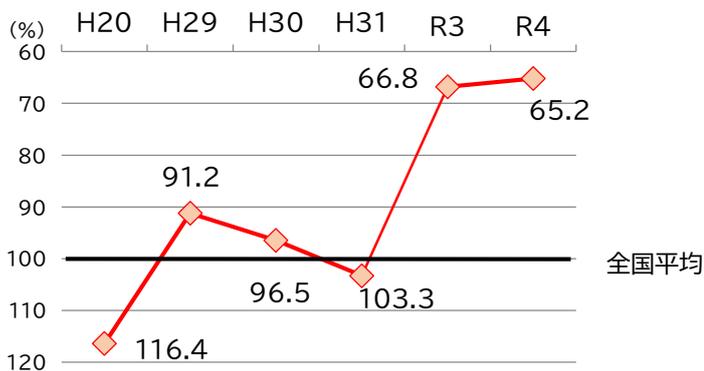


\*R2年度は新型コロナウイルスの影響により中止

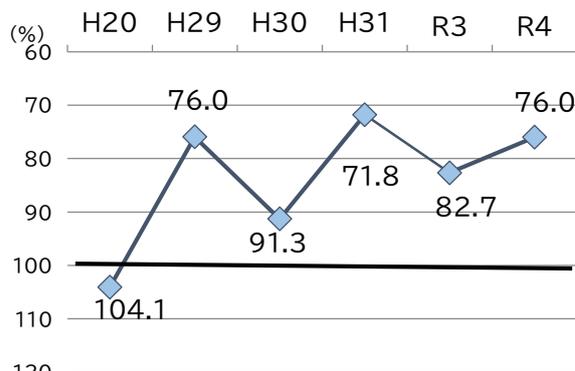
## 3. 無解答率の経年変化

全国の無解答率を100とした場合の伊丹市の無解答率の推移 (国語と算数・数学の合計) \*数値が低いほど、無解答が少ない

【小学校】



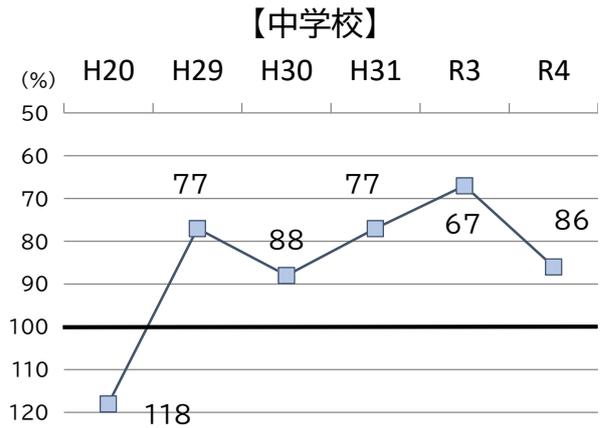
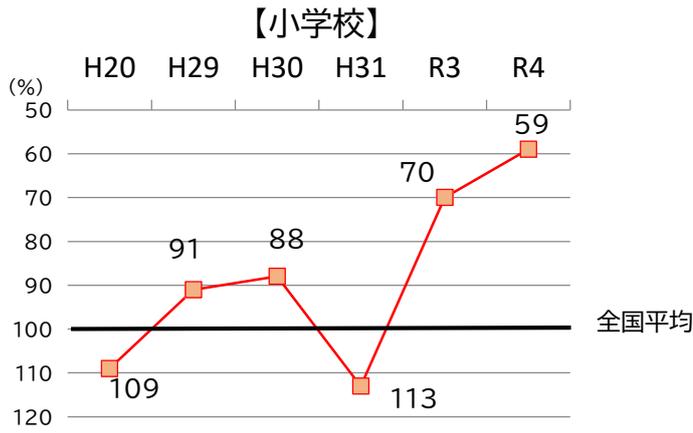
【中学校】



\*R2年度は新型コロナウイルスの影響により中止

## 4. 学力低位層の経年変化

全国の学力低位層(正答率20%以下)の割合を100とした場合の伊丹市の学力低位層の推移  
 \*数値が低いほど、学力低位層が少ない



\*R2年度は新型コロナウイルスの影響により中止

## 5. 学習状況調査結果(主なもの)

質問事項	小学校		中学校	
	伊丹市	全国	伊丹市	全国
① 自分には、よいところがあると思いますか <b>重点</b>	76.7	79.3	78.8	78.5
② 朝食を毎日食べていますか <b>自尊心は、これからの時代を生きるキーワード</b>	93.7	94.4	91.1	91.9
③ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.7	81.5	77.6	79.9
④ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <b>重点</b>	68.7	71.1	52.2	58.5
⑤ 普段(月～金)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか(1時間以上の割合)	58.8	59.4	69.5	69.5
⑥ 普段(月～金)、1日当たりどれぐらいの時間、読書をしますか(1時間以上の割合)	16.4	17.3	11.8	12.4
⑦ 今住んでいる地域の行事に参加していますか	46.3	52.7	29.7	40.0
⑧ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えたことがありますか	48.9	51.3	32.2	40.7
⑨ 新聞を読んでいますか	10.8	13.8	7.5	9.4
⑩ 国語の勉強は好きですか <b>重点</b>	56.7	59.2	56.4	61.9
⑪ 国語の授業の内容はよく分かりますか	82.7	84.0	77.2	81.2
⑫ 解答時間は十分でしたか(国語)	62.9	66.0	86.0	84.9
⑬ 算数(数学)の勉強は好きですか	62.7	62.5	56.0	58.1
⑭ 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか	81.6	81.2	75.8	76.2
⑮ 解答時間は十分でしたか(算数・数学)	84.6	83.4	69.7	71.0
⑯ 理科の勉強は好きですか <b>重点</b>	75.5	79.7	61.5	66.4
⑰ 理科の授業の内容はよく分かりますか	86.7	88.5	72.5	75.2
⑱ 解答時間は十分でしたか(理科)	91.1	90.8	93.0	93.2

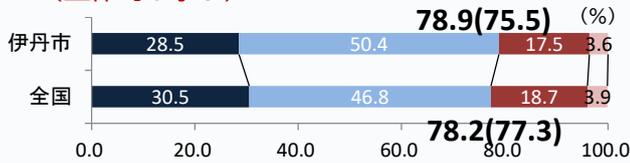
調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です

## 6. 主体的・対話的な学びと平均正答率との相関

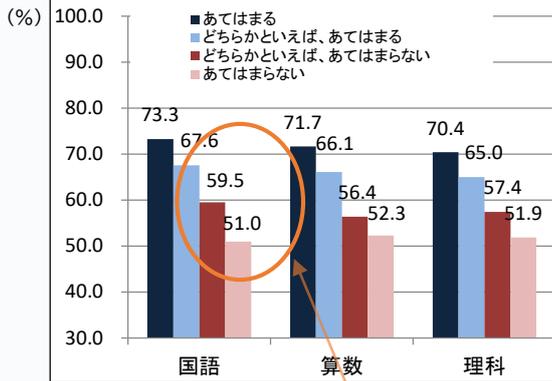
\* ( )内はR3年度

### 【小学校】

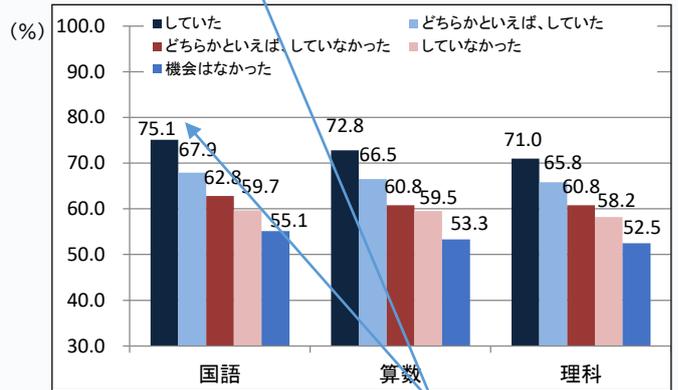
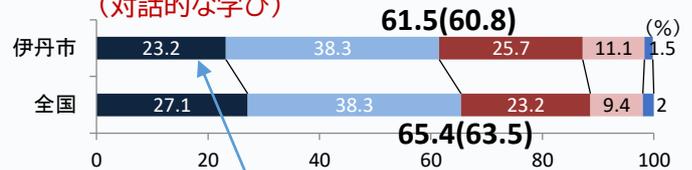
① 今までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか  
(主体的な学び)



(平均正答率)



② 今までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか  
(対話的な学び)



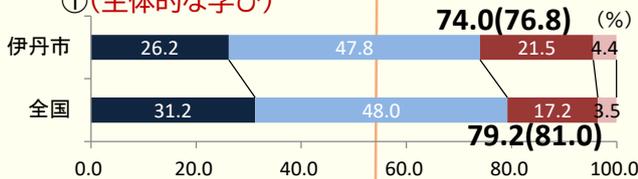
質問に対する回答別の児童の正答率を表している  
例) 小学校②において、「していた」と回答した児童は23.2%であり、その児童らの平均正答率は75.1%であった

主体的・対話的な学びと平均正答率との相関が明らかに高い

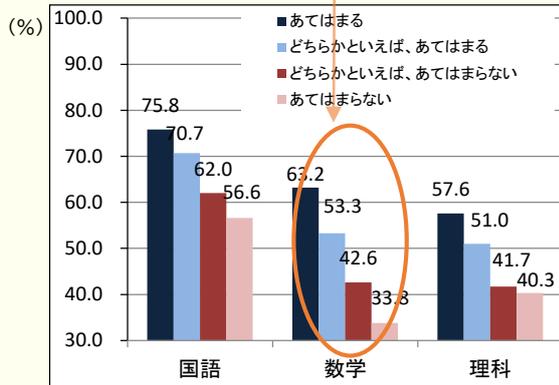
### 【中学校】

\* ( )内はR3年度

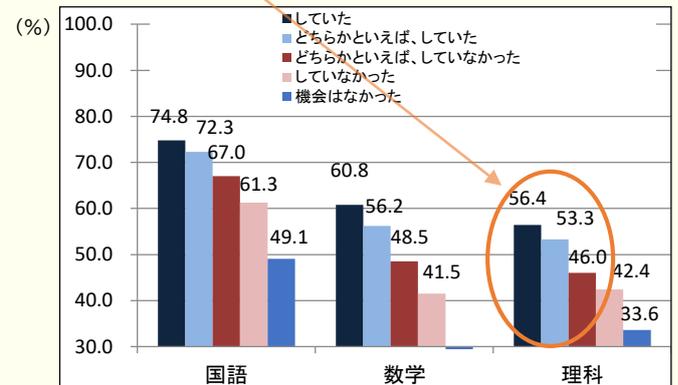
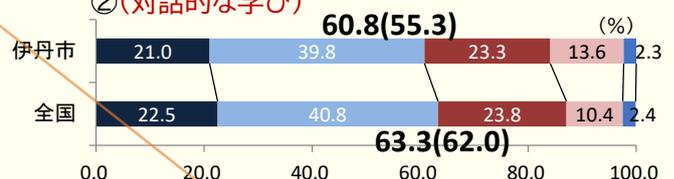
① (主体的な学び)



(平均正答率)



② (対話的な学び)



成 果:小学校における「主体的な学び」において、全国を上回った  
「対話的な学び」において、肯定的な回答が増加した

課 題:中学校における「主体的な学び」、小中学校における「対話的な学び」において、肯定的な回答が全国を下回った

改善策:個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、全ての教科において、主体的・対話的で深い学びを実践する

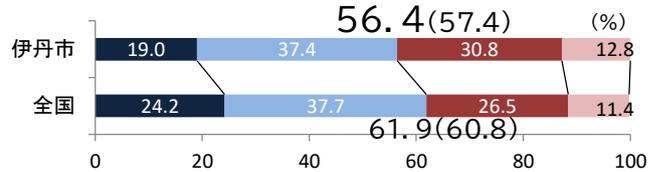
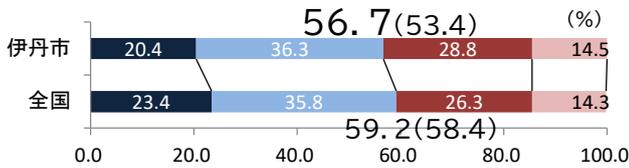
# 7. 「教科の勉強が好き」と平均正答率との相関

## ① 国語の勉強は好きですか

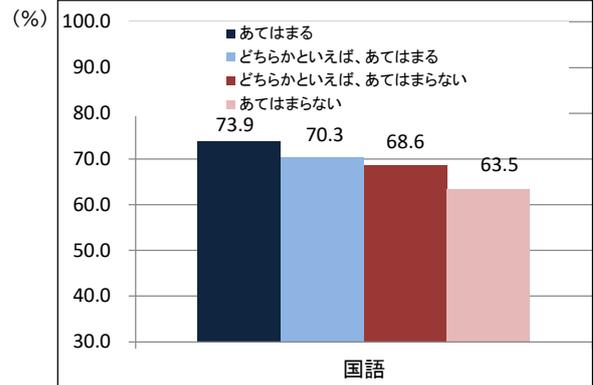
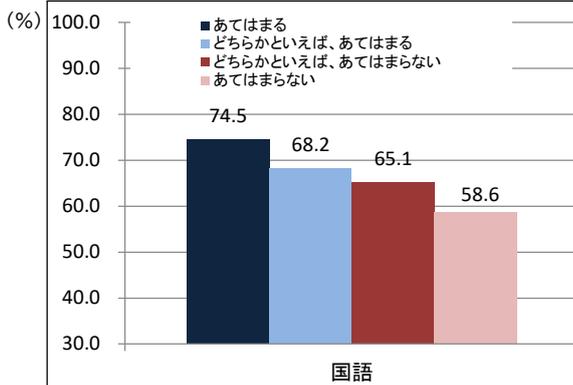
\* ( )内はR3年度

【小学校】

【中学校】



(平均正答率)

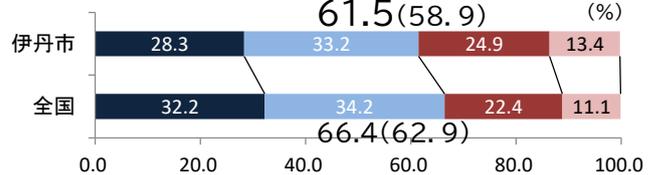
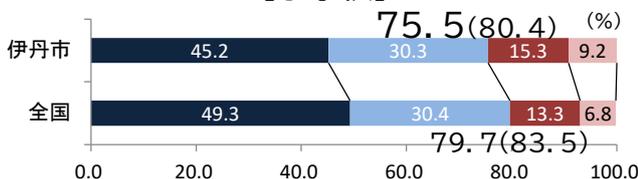


## ② 理科の勉強は好きですか

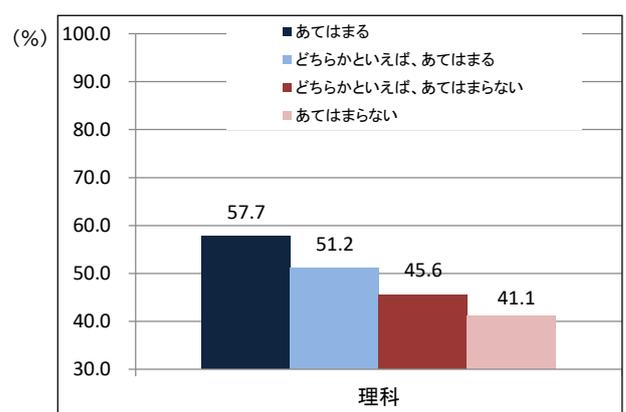
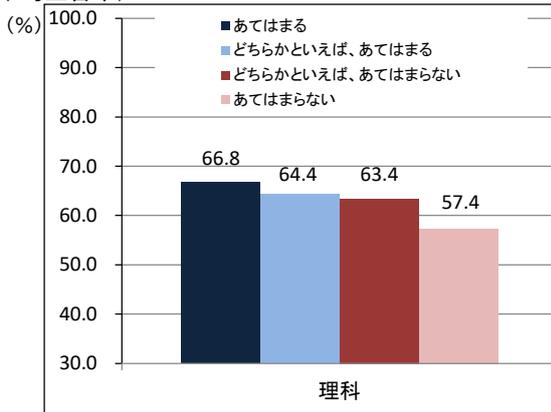
\* ( )内はH30年度

【小学校】

【中学校】



(平均正答率)



成 果: 小学校国語科、中学校理科において、肯定的な回答が増加した

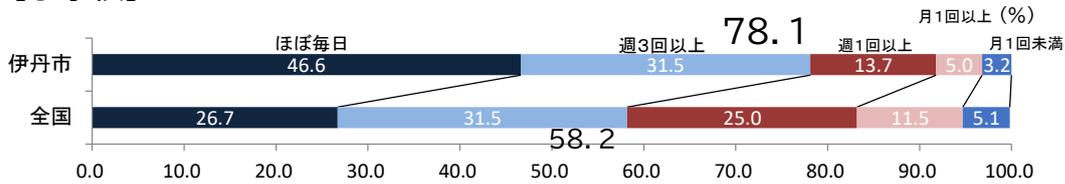
課 題: 国語科、理科において、肯定的な回答が全国を下回った

改善策: 教科特有の見方・考え方を働かせて、課題を解決し、達成感が味わえる魅力ある授業・単元・教育課程づくりを進める

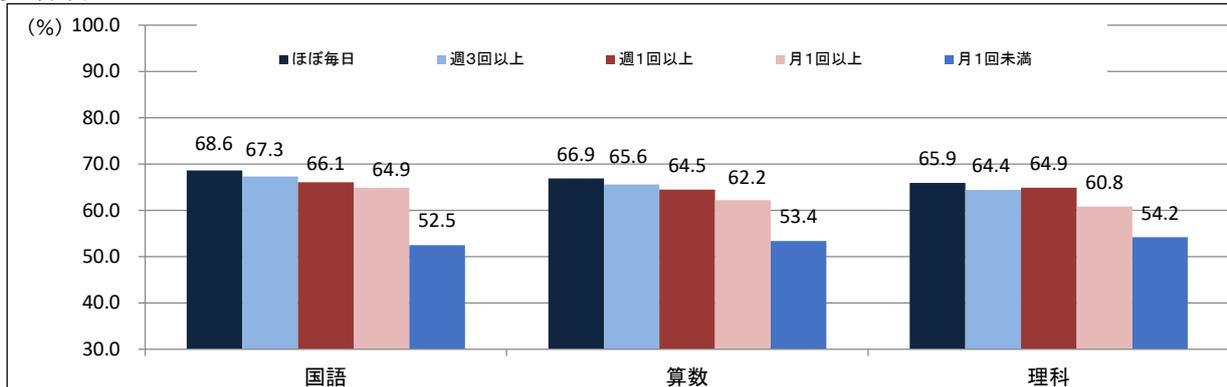
## 8. ICTの活用と平均正答率との相関

これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

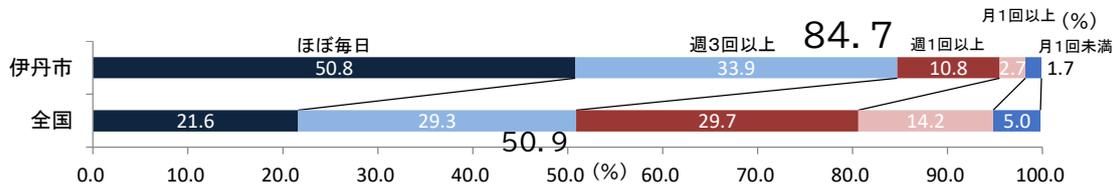
### 【小学校】



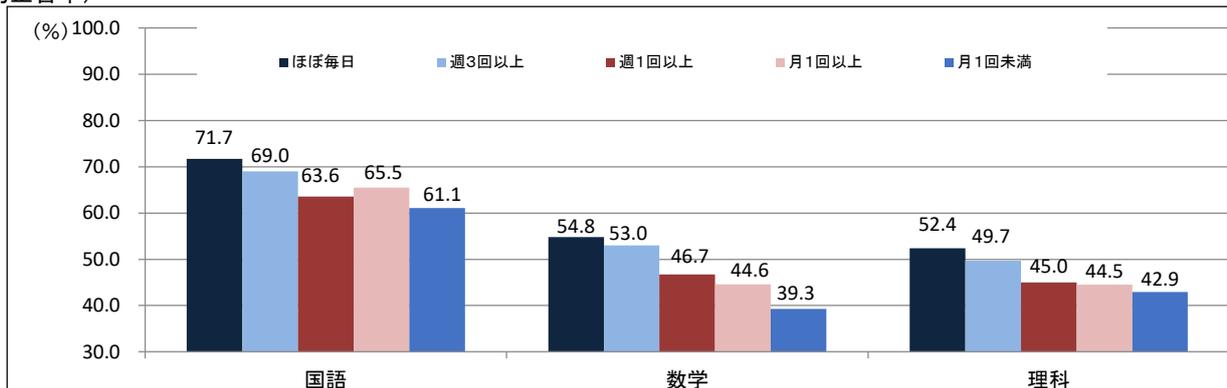
(平均正答率)



### 【中学校】



(平均正答率)



**成果:** 使用頻度において、肯定的な回答が全国を大きく上回った  
ICT機器の積極的な使用が、学力の向上につながる傾向にある

**課題:** 効果的なICT機器の活用について、継続して研究を進める必要がある

**改善策:** 教科の目標、学習場面、発達段階に応じたICT機器の効果的な活用法を研究し、実践の共有を進める

9. 結果分析

令和4年度全国学力・学習状況調査問題 小学校国語(大問3二)

二 島谷さんは、川口さんと「文章2」を読み合い、感想を伝え合いました。次の「伝え合いの様子の一部」をよく読み、あとの問いに答えましょう。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。

川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもとにしているからだね。

島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。

川口さん 最後の段落がいいね。なぜかというところ、最初の段落の内容をより具体的に書いてあるから、今年ががんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。

島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。

〜(伝え合いが続く)〜



(問い)

島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

(条件)

- 「文章2」のよさを書くこと。
- 「文章2」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。  
※◆の印から書きましょう。どちらゆうで行を変えないで、続けて書きましょう。

正答(例)

わたしの文章のよさは、今年ががんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後の段落に書いたりしたことです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアロクがして、各学級にしようかいました。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会で自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことを、いはいしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もウレシむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいたいです。

出題傾向

学習過程における「振り返りの場面」での、主体的な学びに係る力が問われている

課題

感想や意見を伝え合うこと(対話的な学び)を通して自分の文章のよさを見付けることに課題がある

対策

- ・見通しや振り返り、伝え合いなど、学習過程を大切にした授業や単元を構想する
- ・「学び」について、系統的に指導する
- ・低学年：内容や記述などに見られる具体的なよさを
- ・中学年：書くこととしたことの明確な
- ・高学年：文章全体の構成や展開の明確な

正答率 伊丹市 37.1%  
全国 37.7%

無解答率 伊丹市 11.5%  
全国 14.5%

令和4年度全国学力・学習状況調査問題 中学校国語(大問2三)

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達が書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父父母に、スマート農業について話を聞いたからだ。祖父父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。

しかし、祖父父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0\*の実現」

\*Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化  
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化  
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用  
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

(農林水産省ウェブページによる。)

【コメントの一部】

上野

他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村

私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

条件2 「例えば、」に続けて書くこと。

条件1 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かきかっこ「」でくくること。

かまいません。

条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしても

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの【コメントの一部】を踏まえて、

た「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の

で閉まれ

例えば、正答(例)

農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

正答率 伊丹市 49.4%  
全国 46.5%

無解答率 伊丹市 6.6%  
全国 9.0%

対策

・授業において文章や図表などを引用する必要がある言語活動を設定し、引用の仕方や引用部分を適切な量とすることなどについて確認する  
・意見文などを書く際に、自分の考えを支える根拠として資料を適切に引用することなどができるように指導する

課題

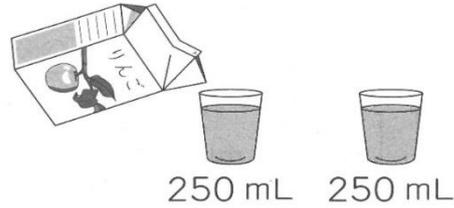
引用の仕方や出典の示し方について理解し、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題がある

出題傾向

自分の考えが伝わる文章を書くために、根拠が明確になるように、資料から必要な情報を引用して書き加える力が問われている

## 令和4年度全国学力・学習状況調査問題 小学校算数(大問2(3))

- (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500 mL あります。  
この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250 mL になります。



正答率 伊丹市 19.6%  
全 国 21.4%

無解答率 伊丹市 0.5%  
全 国 1.1%

半分に分けても、果汁の割合は変わらない

250 mL の飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250 mL は、500 mL の  $\frac{1}{2}$  の量です。

このとき、

ア

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

1 飲み物の量が  $\frac{1}{2}$  になると、果汁の割合も  $\frac{1}{2}$  になります。

2 飲み物の量が  $\frac{1}{2}$  になると、果汁の割合は2倍になります。

正答 3 飲み物の量が  $\frac{1}{2}$  になっても、果汁の割合は変わりません。

伊丹市においては、69.6%の児童が1を選択(誤答)

## 出題傾向

日常の具体的な場面において、割合を使って問題を解決する力が問われている

## 課題

飲み物の量(数量)が変わっても割合(飲み物の濃さ)は変わらないことを理解することに課題がある

## 対策

日常の場面に対応させながら、割合について実感を伴って理解できる授業を実践する(教科での学習内容と日常生活をつなげる)

3 優真さんは、次の予想がいつでも成り立つかどうかについて考えています。

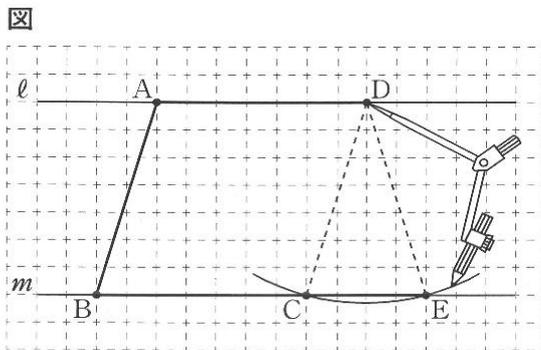
予想

1組の向かい合う辺が平行で、もう1組の向かい合う辺の長さが等しい四角形ならば、その四角形は平行四辺形である。

正答率 伊丹市 40.9%  
全国 44.9%

無解答率 伊丹市 0.1%  
全国 0.4%

上の予想がいつでも成り立つかどうかを、図をかいて考えることにしました。下の図のように、はじめに、平行な2直線  $l$ ,  $m$  上に3点  $A$ ,  $B$ ,  $D$  をとり、線分  $AB$ ,  $AD$  をかきました。次に、点  $D$  を中心として、線分  $AB$  の長さと同じ半径の円をかいたところ、直線  $m$  と2点  $C$ ,  $E$  で交わり、平行四辺形になる四角形  $ABCD$  と、平行四辺形にならない四角形  $ABED$  の2つがかけました。



出題傾向

命題や推測した事柄について、筋道立てて考察する力が問われている

前ページの予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア 予想がいつでも成り立つことを示すためには、図のように平行四辺形になる四角形  $ABCD$  が1つかければよい。

イ 予想がいつでも成り立つことを示すためには、点  $A$ ,  $B$ ,  $D$  の位置を変えて、図の平行四辺形  $ABCD$  のほかに、平行四辺形になる四角形をかく必要がある。

正答

ウ 予想がいつでも成り立つとはいえないことを示すためには、図のように平行四辺形にならない四角形  $ABED$  が1つかければよい。

エ 予想がいつでも成り立つとはいえないことを示すためには、点  $A$ ,  $B$ ,  $D$  の位置を変えて、図の四角形  $ABED$  のほかに、平行四辺形にならない四角形をかく必要がある。

伊丹市においては、31.5%の生徒がイを選択(誤答)

課題

反例の意味(数学科特有の見方・考え方)を理解し、筋道立てて考えることに課題がある

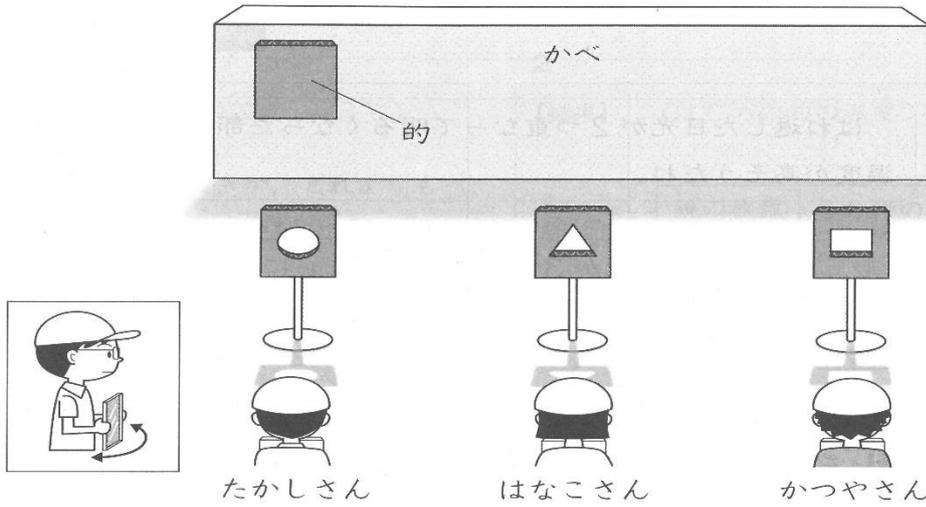
対策

知識・技能(反例)を活用して、問題を解決(命題が常に成り立つとは限らないことを説明する)する授業を充実する

令和4年度全国学力・学習状況調査問題 小学校理科 (大問3(1))

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、<sup>ま</sup>的あてゲームをしました。



正答率 伊丹市 26.7%  
全国 27.8%

無解答率 伊丹市 0.1%  
全国 0.6%

上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの<sup>だん</sup>段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、**三角形の光**をあてることができるのはだれですか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 正答 **3** かつやさん
- 4 全員

伊丹市においては、49.2%の児童が2を選択(誤答)

出題傾向

光の性質(光は直進する)を基に、反射させた日光の進み方について考える力が問われている

課題

主体的な問題解決(体験や実験)を通して、知識を概念的に理解することに課題がある

対策

習得した知識を、次の学習や生活に生かすことに重点を置いた授業を実践する

5 ばねを押すとき、加える力の大きさとばねが縮む長さの関係について、理科の授業で科学的に探究しました。  
 (1)から(3)までの各問いに答えなさい。

正答率 伊丹市 11.3%  
 全国 15.3%

無解答率 伊丹市 0.1%  
 全国 0.2%

押して使うばねを探究する場面

ばねののびは、加える力の大きさと比例の関係がありました。

ばねは、生活の中で押して使うことが多いですね。

ばねを押すときも、比例の関係が成り立つのかな。

(1) 図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。  
 また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでの中から1つ選びなさい。

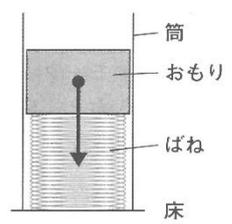


図2 おもりにはたらく重力

正答(完解) **ア**      **イ**      **ウ**      **エ**

伊丹市においては、67.6%の生徒がア以外を選択し、かつキを選択(誤答)

- 正答(完解) **キ**
- カ おもりがばねを押す力
  - ク おもりが床を押す力
  - キ ばねがおもりを押す力
  - ケ 床がおもりを支える力

アとキの両方を選択して正解(完解)

出題傾向

力の働きに関する知識及び技能を活用し、物体に働く重力とつり合う力を図示及び説明できるかが問われている

課題

作用点を力の矢印の始点として理解することに課題がある

対策

タブレット端末で教室内を撮影し、日常の中で、つり合っている力を見出し、物体に働く力を矢印で表すなどの学習活動を充実する

# 1 授業改善

- ① **教科の楽しさ**が伝わる**体験**や**実感**を伴う授業の充実
- ② **主体的・対話的**で**深い学び**の実践（**授業アイデア例**(国立教育政策研究所作成)の活用)
- ③ **ICTの有効活用**
- ④ **指導と評価の一体化**
  - ・ 育成すべき資質・能力をめざした指導と評価の充実

# 2 誰一人取り残さない取組

- ① **個別最適**な学びの充実
  - ・ ICTの活用(AIドリルやMEXCBT等)による、習熟度に応じた指導や学習履歴の活用
  - ・ 指導の個別化(補習学習等)と、学習の個性化の推進
- ② **習熟度別授業**や**教科担任制**の充実
- ③ **客観的評価**を活用したPDCAサイクルの確立
  - ・ 国の調査に加え、学校独自の学力調査等の導入
  - ・ 低学年から、学年ごとにつまづきを把握し、学校全体による組織的な学力の向上

# 3 保幼小中の接続

子どもの**発達**と**学びの連続性**を重視

- ・ 子どもをめぐる情報の伝え合い・共有
- ・ 互いに力を発揮する子ども同士の交流
- ・ 教育・保育における相互理解
- ・ 環境や学びのつながりの工夫
- ・ 育成すべき資質・能力を見通した教育課程の構築

学 校

確かな学力の育成

家 庭

地 域

## 1 基本的な生活習慣の確立

- ① **朝食**をしっかりとる
- ② **就寝時間**を守る
- ③ **スマホ・ゲーム**の時間を決める

## 社会性や人間性の育成

- ① **あいさつ**ができ、**礼儀正しい**子どもを育てる
- ② **学習環境**を整備する

## 2 自尊感情の育成

- ① **現状**を直視し、**目標**を持ち、**常に考える**
- ② 子どもの**話をしっかり聞き**、よいところを**褒める**

## 3 主体的な学習習慣の確立

- ① 計画的な**自主学習**を行う
- ② **読書習慣**を確立する